

カールストルツ・エンドスコープ・ジャパン株式会社

サンプル写真

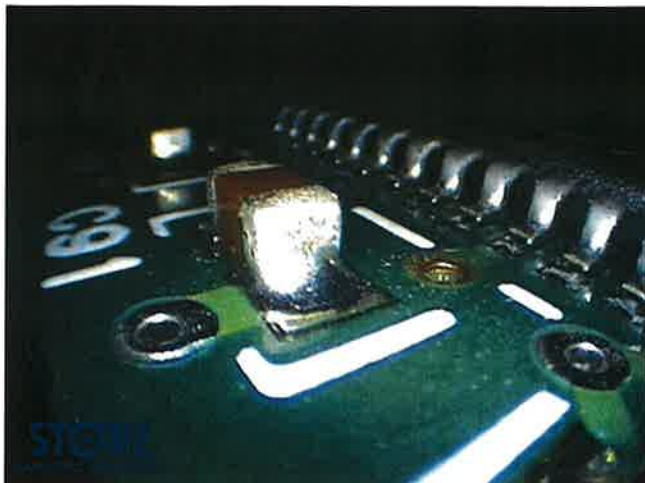
カールストルツは医療機器メーカーとして、1945年にドイツのTuttlingenで誕生しました。生産拠点としてドイツ、スイス、アメリカに、そして世界各地に販売ネットワークを構築する、内視鏡のリーディングカンパニーです。

カールストルツのポアスコープは、特許である HOPKINS® ロッドレンズを使用しているため、深い被写界深度が特長です。一般的なリレーレンズに比べ、広視野角、高輝度、シャープなコントラスト画像、そして忠実な色彩を実現しました。

■特徴：

- 1) **優れたレンズシステム**
→ 観察画像が極めて鮮明
- 2) **自由度の高いシステム構成**
→ 研究室はもちろん、現場での使用も可能
- 3) **内視鏡専門メーカーならではの豊富なラインナップ**
→ 多様なニーズに対応
- 4) **他社製品と互換性があり、既存設備を無駄にしない**
→ コスト削減

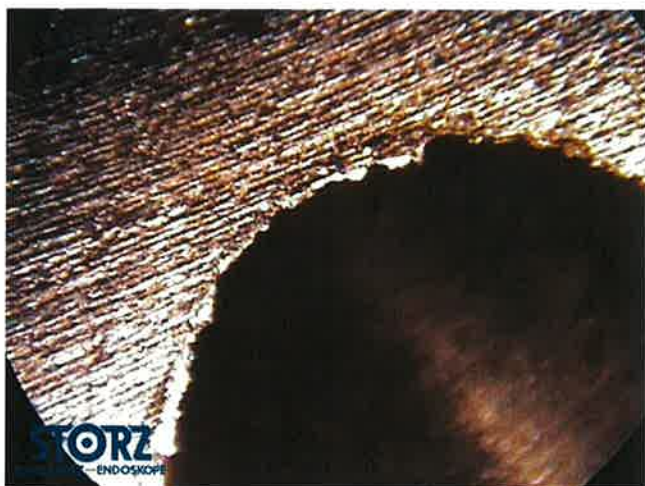
電子基板 :



配管内面 :



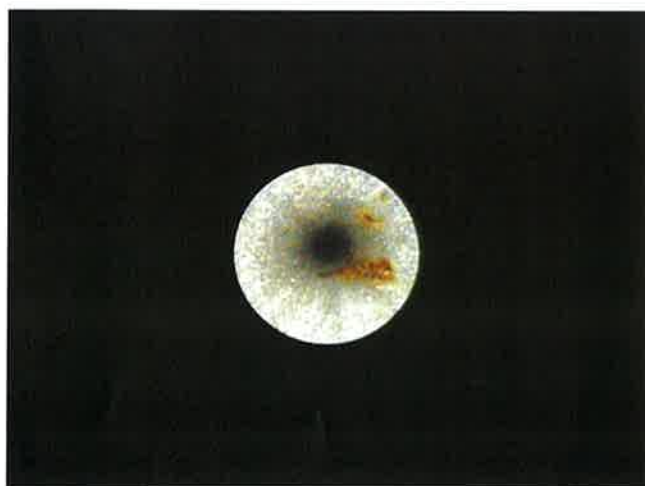
加工後のバリ :



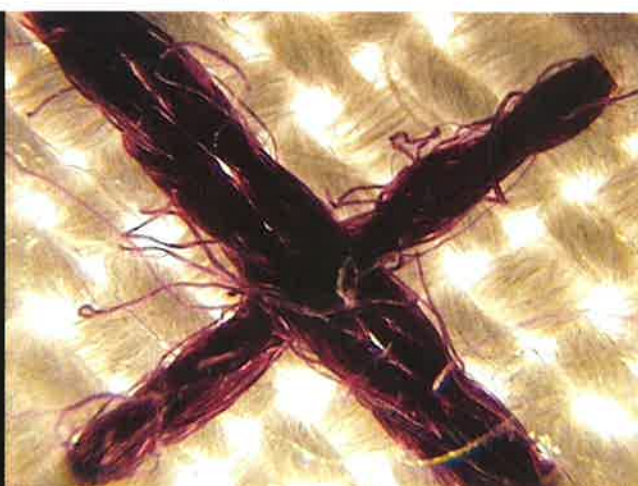
エンジン内部 :



細径パイプの内部 :

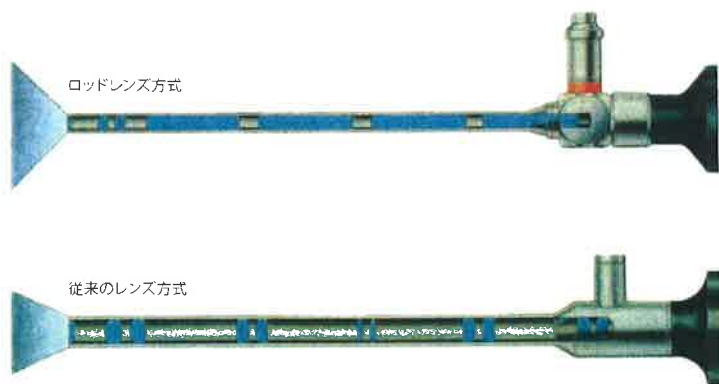


服の繊維 :





患者には優しく安全に、ドクターには、的確な診断・確実な処置ができるよう、内視鏡医療に対するカールストルツ博士とH.H.ホプキンス教授の強い思いが、世界に類のない極めて画期的なロッドレンズシステムを生み出しました。このロッドレンズシステムは、1879年にニツェ博士により開発された従来レンズシステムに代わり、内視鏡技術を大きく前進させました。カールストルツのHOPKINS®ロッドレンズシステムは、従来のレンズの代わりに、先端部を光学的に処理した特殊ガラスロッドを採用しています。このロッドレンズシステムは、従来のレンズシステムに比べ、**広視野角、高輝度、シャープなコントラスト画像**、そして**忠実な色彩**を実現しました。



[HOPKINS®ロッドレンズシステムの特長]

- 優れた配光性により、高解像度のシャープなコントラスト画像を実現
- 深い被写界深度
- 視角全体にムラ・歪みが無く、均一で明るい画像を提供

※ロッドレンズ方式の第2世代であるHOPKINS II®は、最先端光学技術により解像度、輝度、コントラストおよび視野角を飛躍的に向上させました。HOPKINS II®は、最高品質の新しいブランドです。

[ボアスコープによる観察画像例]



基板



腐食した配管内部



エンジンバルブ



トランスミッションギア